

【開催概要】

日 時：令和 4 年 12 月 26 日（月）14 時～15 時

場 所：沖縄産業支援センター3 階 会議室 303

1. 発表事項

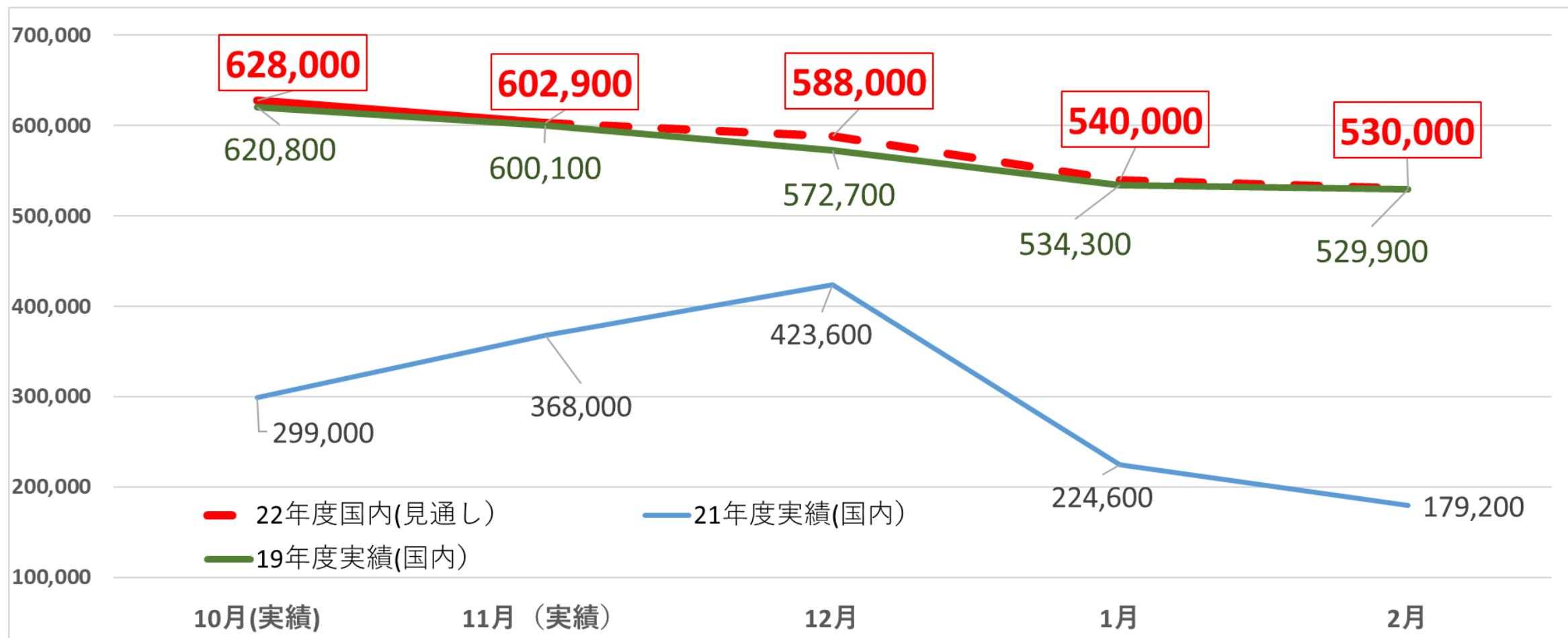
- ① 入域観光客数見通し（企画課）
- ② 那覇空港国際線ネットワークについて（海外プロモーション課）
- ③ 修学旅行の現状と今後の取り組みについて（受入推進課）
- ④ 2022 年 OCVB 重大ニュース（総務・経理課）

2. 報告事項

- ① 「沖縄 MICE プロジェクト 2022」（招聘ツアー＆商談会）（MICE 推進課）
- ② 「MICE EXPO in KANSAI 2022」への出展報告（MICE 推進課）
- ③ 「沖縄クルーズカンファレンス 2022」開催報告（海外プロモーション課）
- ④ 学生向け「インターンシップ動画」公開のお知らせ（受入推進課）
- ⑤ 2023 年「沖縄観光新春の集い」開催（総務・経理課）

1. 2022年度12月-2月入域観光客数見通し

	4-9月 計	10月(実績)	11月 (実績)	12月	1月	2月	12-2月計	4-2月 計
22年度国内(見通し)	2,997,500	628,000	602,900	588,000	540,000	530,000	1,658,000	5,886,400
22年度海外(見通し)	100	2,700	12,100	22,000	22,000	30,000	74,000	88,900
対21年度比(国内)	219.7%	210.0%	163.8%	138.8%	240.4%	295.8%	200.4%	205.9%
21年度実績(国内)	1,364,200	299,000	368,000	423,600	224,600	179,200	827,400	2,858,600
対19年度比 (国内)	80.4%	101.2%	100.5%	102.7%	101.1%	100.0%	101.3%	89.4%
対19年度比 (国内・海外)	56.0%	73.8%	75.4%	77.9%	74.2%	89.7%	83.5%	65.9%
19年度実績(国内)	3,727,100	620,800	600,100	572,700	534,300	529,900	1,636,900	6,584,900
19年度実績(海外)	1,621,500	230,500	199,100	182,400	193,500	61,000	436,900	2,488,000
19年度実績(国内・海外)	5,348,600	851,300	799,200	755,100	727,800	590,900	2,073,800	9,072,900



旅行需要は回復基調が続く。12月は11月同様、全国旅行支援(おきなわ彩発見NEXT)による高需要となり、国内客ではコロナ前とほぼ同じ水準まで旅行需要が回復する見込み。

1月以降は全国旅行支援が1月10日より再開されることから、年末年始を含めて、コロナ前と同水準の旅行需要が見込まれる。

国際線(台湾、香港、韓国線)の運航再開路線の需要も徐々に回復傾向となっている。

・12月 : 【国内】 全国旅行支援による高需要が見込まれる。入域観光客数は19年度(国内)とほぼ同水準の58.8万人(19年対比 102.7%)となる見通し。

年末年始期間の需要も好調でコロナ前と同水準の需要を見込む。航空便の予約率も好調で、特に東京発沖縄線(離島含む)の需要が高い。ホテル稼働率も引き続き好調で19年度と同水準で推移。ホテル宿泊単価についても、年末年始期間を中心に北部・離島リゾート地区の単価が特に高くなっており、シティホテルも堅調。

【海外】 大韓航空、チェジュ航空、ティーウェイ航空、アジアナ航空が仁川那覇線の運航再開。台北線、香港線、仁川線ともに需要が徐々に伸びている。

空路入域客数は2.2万人(19年度対比 12.1%)となる見通し。

運航再開路線: 台北那覇線4社[タイガーエア台湾、スターラックス、Peach社: デイリー運航、中華航空: 週5便運航(火木運休)]

香港那覇線2社[香港エクスプレス: デイリー運航、香港航空: 14日まで週3便(水金日運航)、15日以降デイリー運航]

仁川那覇線5社[チェジュ航空、ジンエアー、ティーウェイ航空(22日~)各社 デイリー運航、大韓航空: 週4便(月木金日)、アジアナ航空: 週4便(23日~ 火木金日運航)]

・1月 : 【国内】 10日から全国旅行支援が実施されるため、入域観光客数は19年度(国内)とほぼ同水準の54万人(19年対比101.1%)と見込む。

【海外】 18日よりエバー航空が台北那覇線を運航再開。台北線、香港線、仁川線ともに需要が徐々に伸びており、台湾、香港及び韓国の旧正月期間となる下旬の予約状況は、一部の便で満席となっている。空路入域客数は2.2万人(19年度対比 11.4%)となる見通し。

運航再開路線: 台北那覇線5社[タイガーエア台湾、スターラックス、Peach社、エバー航空(18日~): 各社デイリー運航、中華航空(12日まで火木運休、13日以降デイリー運航)]

香港那覇線2社[香港エクスプレス、香港航空: デイリー運航]

仁川那覇線5社[チェジュ航空、ジンエアー、ティーウェイ航空、大韓航空: 各社デイリー運航、アジアナ航空: 週4便(火木金日運航)]

・2月 : 【国内】 全国旅行支援が実施されるため、入域観光客数は19年度(国内)とほぼ同水準の53万人(19年対比100.0%)と見込む。

【海外】 台北線、香港線、仁川線ともに需要が徐々に伸びている。空路入域客数は3万人(19年度対比 49.2%)となる見通し。

運航再開路線: 台北那覇線5社[タイガーエア台湾、スターラックス、Peach社、エバー航空、中華航空: 各社デイリー運航]

香港那覇線2社[香港エクスプレス、香港航空: デイリー運航]

仁川那覇線5社[チェジュ航空、ジンエアー、ティーウェイ航空: 各社デイリー運航、大韓航空: 週4便(月木金日)、アジアナ航空: 週4便(火木金日運航)]

(ホテルアンケート、航空会社等からのヒアリングをもとに算出、分析)

【お問い合わせ先】

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

企画・施設事業部 企画課 高安・与那国

TEL:098-859-6126 Mail: ocvb_yosoku@ocvb.or.jp

令和4年12月26日（月）

那覇空港国際線ネットワークについて

沖縄県及び一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）は、10月11日の日本国政府の水際対策緩和以降、那覇空港国際線のネットワーク再開に向けて取り組んでまいりました。

現在3カ国、地域を結ぶ国際線が再開しています。詳細は以下ご参照ください。

【那覇空港発着国際線ネットワークについて】

【台湾】

運航開始日	航空会社	発着地	出発時間	到着時間
2022/10/16	タイガーエア台湾	台北→那覇	06:35	08:55
		那覇→台北	09:45	10:20
2022/10/25	チャイナエアライン	台北→那覇	08:15	10:45
		那覇→台北	11:55	12:35
2022/10/28	スターラックス航空	台北→那覇	09:30	11:50
		那覇→台北	12:50	13:30
2022/11/17	ピーチアビエーション	台北→那覇	15:25	17:55
		那覇→台北	13:40	14:20
2023/1/18	エバー航空	台北→那覇	06:55	09:15
		那覇→台北	10:15	10:55

【韓国】

運航開始日	航空会社	発着地	出発時間	到着時間
2022/8/2	ティーウェイ航空	仁川→那覇	11:45	14:10
		那覇→仁川	15:10	17:35
2022/12/1	大韓航空	仁川→那覇	08:05	10:25
		那覇→仁川	11:35	13:55
2022/12/1	ジンエアー	仁川→那覇	10:10	12:30
		那覇→仁川	13:30	15:50
2022/12/1	チェジュ航空	仁川→那覇	12:40	15:05
		那覇→仁川	15:55	18:15
2022/12/23	アシアナ航空	仁川→那覇	09:40	11:55
		那覇→仁川	13:00	15:20

【香港】

運航開始日	航空会社	発着地	出発時間	到着時間
2022/10/16	香港エクスプレス	香港→那覇	07:35	11:05
		那覇→香港	12:00	13:55
2022/11/2	香港航空	香港→那覇	11:05	14:40
		那覇→香港	16:00	17:50

【地域別運航頻度】

発着国、地域	路線	便数	備考
台湾	那覇台北	26便/週	4社運航
韓国	那覇仁川	29便/週	5社運航
香港	那覇香港	14便/週	2社運航
TTL	3路線	69便/週	11社運航

また2023年1月18日（水）には台湾のエバー航空が那覇台北の運航を再開いたします。
エバー航空の運航再開により台湾路線の便数は33便/週に増加します。

沖縄県及びOCVBは引き続き、沖縄県内空港発着国際線ネットワークの一層の拡充に向け、取り組んでまいります。

【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー

海外・MICE事業部 海外プロモーション課 担当：曾我部

TEL:098-859-6127 Mail: s-toru@ocvb.or.jp

令和4年12月26日（月）

修学旅行の現状と今後の取り組みについて

1 現状

OCVB 調査：令和4年12月2日時点予約数・実績

調査対象：沖縄修学旅行取扱旅行社8社回答／15社

(1) 令和4年10月～12月の予約見込み

823校、163,064人

(2) 暦年別の入込推移（見込）

令和元年【実績】 県観光政策課統計		令和2年【実績】 県観光政策課統計		令和3年【実績】 県観光政策課統計		令和4年【見込】 OCVB 調査(R4.12.2時点)	
学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
2,398	409,011	395	70,414	381	70,038	1,198	223,949

(3) 今後の動向等

全国の新規感染者数は一部の地域では増加傾向が継続するなど地域差がみられるが、引き続き予定通り沖縄修学旅行を実施する動きが見られ、回復基調が続いている。

2 県・OCVB等の直近の取り組み

(1) 沖縄修学旅行防疫観光ガイドラインの更新

10月からのコロナ陽性者の全数届出見直しに伴う対応フローの変更、救急医療の適正利用、解熱剤・医療用抗原検査キット等の持参のお願い、旅行保険のコロナ適用の要件緩和情報などを追加・更新した。

＜おきなわ修学旅行ナビ Web サイト紹介コーナー＞

<https://education.okinawastory.jp/topics/5253/>

(2) 様々な沖縄県内平和学習施設の提案

沖縄県平和祈念資料館が令和4年12月から令和5年4月まで臨時休館であるため、平和学習が一部施設に集中しないよう、令和4年8月に作成した平和学習分科会委員情報一覧表を催事イベントで周知するとともに、モニターツアーにて他施設の紹介を行っている。

(3) 前 WBO 世界フライ級王者 中谷潤人氏 修学旅行生に講話実施

前 WBO 世界フライ級王者の中谷潤人氏（三重県出身 24 歳）が 12 月 16 日（金）、17 日（土）に読谷村で日本大学第二高等学校の修学旅行生に講話を行いました。中谷氏は中学生時代に修学旅行で読谷村波平のチビチリガマを訪れたことをきっかけに読谷村の平和ガイドと交流を続けており、今回の講話もこうしたつながりや、首里城再建のため個人として 3 回寄付いただくなど「沖縄のために何か貢献したい」という中谷氏の思いから実施されました。



▲中谷潤人氏から日本大学第二高等学校修学旅行生への講話(令和 4 年 12 月 16 日)

3 県・OCVB の今後の取り組み等

(1) 沖縄修学旅行プロモーション

①催事プロモーション

- ・『沖縄修学旅行 SDGs EXPO in 東京』
日 時：12 月 27 日（火）14:00～19:00
場 所：東京交通会館（有楽町）12 階カトレサロン
コンセプト：～沖縄で体験する SDGs・探究学習～
出 展 者：47 社/団体(39 ブース)
申 込 状 況:156 名【12 月 23 日時点】
- ・1 月 31 日（火）：沖縄修学旅行相談会 in 静岡
- ・2 月 2 日（木）：沖縄修学旅行相談会 in 岡山
- ・2 月 3 日（金）：沖縄教育旅行セミナー説明会 in 徳島（主催：高松空港振興期成会）

②モニターツアー

新しい学習ニーズや県内の課題に対応したプログラムのモニターツアーを公募している。

- ・2 月 24 日（土）～25 日（日）：高等学校関係者

以 上

お問い合わせ先

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課 教育旅行担当：恩田

TEL:098-859-6129 Mail:shuryo@ocvb.or.jp

4.新型コロナウイルス感染症かも・・・と思ったら

沖縄滞在中の発熱や体調不良など

「旅行者専用相談センター沖縄（TACO）」

（Traveler's Access Center Okinawa）

【受付時間】8:00～21:00 TEL 098-840-1677

体調不調時等の電話相談・看護師による問診等

受診が必要・希望

軽 症

① 医療機関

② 発熱・上気道炎 等

PCR検査 or 抗原検査

結果通知

陽 性

そ の 他

健康指導

陰 性

1. 発生届対象者⇒県から連絡有

(1)65歳以上 (2)入院を要する者
(3)重症化リスク有＋治療等が必要な者
(4)妊婦

2. 発生届対象外⇒県から連絡無

滞在先ホテルで療養もしくは
体調管理に気をつけながら旅程に
戻る

③

※ 陽性者（引率者）自身で
行政による支援の申請手続
（搬送や宿泊療養施設の手配等）

※12月1日時点での情報です。

今後変更の可能性もございます。予めご了承ください。

沖縄修学旅行受入のための各種問い合わせ先

① 沖縄県発熱コールセンター

内容：検査・受診・後遺症・その他（他の専門窓口に係る内容を除く）
のご相談。発熱外来対応医療機関のご紹介（一覧リスト有り）。

※受診先については、原則、当コールセンターを通じてご案内。

受付時間：24時間対応 TEL：098-866-2129

- ・TACOから医療機関のご案内はありません。
- ・コールセンターからの紹介または発熱外来対応医療機関リストから探し、医療機関へ電話してから受診してください。
- ・リスト内にコールセンター案内「O」が付いている医療機関へ直接連絡も可能

② 発熱外来対応医療機関（受診する場合は事前に連絡してください）

<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/kansen/iryou/hatunetugairai.html>



救急医療の適正利用について

限りある医療資源を守り、緊急性の高い重症患者の治療・搬送等が適切に行われるよう、緊急を要しない救急要請（119番）・救急外来の受診はお控えください。

緊急性の判断に迷う場合は、TACO又はコールセンターへご連絡ください。

・旅行者専用相談センター沖縄（TACO）

【受付時間】8:00～21:00 TEL 098-840-1677

・沖縄県発熱コールセンター

【受付時間】：24時間対応 TEL：098-866-2129

③ 沖縄県 陽性者フォローアップシステム

修学旅行生については、発生届対象外となるケースがほとんどです。

このため、行政支援を希望される場合は、以下の申請を陽性者（引率者）ご自身で行う必要があります。

（例：宿泊療養施設の入所、搬送（交通手段がない方に限る）、配食サービス）

申請先：沖縄県陽性者フォローアップシステム

【受付時間】9:00～17:00（健康相談は24時まで）

TEL 098-894-8291



in 東京

令和 4 年度

沖縄修学旅行 SDGs EXPO

※開催 30 分前より開場

日時 令和 4 年 12 月 27 日 (火) 14:00 ~ 19:00

会場 東京交通会館 12 階 (カトリアサロン)

住所: 東京都千代田区有楽町 2 丁目 10-1

対象 学校関係者 (教員、児童 / 生徒、保護者)、旅行会社など



～沖縄で体験する SDGs・探究学習～



沖縄から修学旅行の関連事業者多数集結!

個別
相談会

参加費
無料

入退場
自由

事例
発表

予定内容

- ・主催者プレゼンテーション
「安全安心な沖縄で体験する SDGs・探究学習について」
- ・沖縄県内修学旅行受入事業者によるプレゼンテーション
- ・沖縄修学旅行モニターツアー参加者による体験発表
- ・航空会社プレゼンテーション (JAL/ANA)

※事業者ブースでは、終日個別相談会を実施しております♪

交通費助成

学校関係者の方を対象に、会場までの交通費を一部助成いたします。(上限あり)

ご希望の方は、「おきなわ修学旅行ナビ(Web)」▶
より詳細をご確認ください。



後援: 公益財団法人全国修学旅行研究協会、公益財団法人日本修学旅行協会



令和4年度

沖縄修学旅行 SDGs EXPO

in東京

【出展企業一覧】

■ 北部エリア

■ 中部エリア

■ 南部エリア

■ 離島エリア

■ 広域

国頭村観光協会 15	東村観光推進協議会 15	やんばるエコツーリズム研究所 13	おおぎみまるとツーリズム協会 16
宜野座村観光協会 4	ホールアース自然学校沖縄校 がじゅまる自然学校 14	(公財) 名護市観光協会 14	サザンフーズ株式会社 17
オリエンタルホテル 沖縄リゾート&スパ 17	JAMSTEC (GODAC 国際海洋環境情報 センター) 14	ホテル日航アリビラ 14	沖縄市観光物産振興協会 16
オキナワ グランメールリゾート 10	HelloWorld 4	ブルーフィールド 16	嘉手納町 14
よみたん探究学習旅行実行委員会 17	浦添市観光協会 14	北谷ツーリズムデザインラボ 16	青年海外協力協会 沖縄 11
一般社団法人 プロモーションうるま 4	国立劇場おきなわ 4	自然体験学校 14	糸満市観光協会 11
ジェイ旅行サービス マリン倶楽部 SUN 4	株式会社ジェイシーシー 12	MRO Japan 9	伊平屋島観光協会 14
久米島町観光協会 14	ぶしいぬしま 14	渡嘉敷村観光協会 4	八重山教育旅行誘致委員会 7
フサキビーチリゾート ホテル&ヴィラズ 14	伊江島観光協会 4	エコガイドカフェ 14	NO MARK 16
ていーだ観光 4	御菓子御殿 12	まるとまるっと 16	OKINAWA SDGs プロジェクト (OSP) = 琉球新報社、 うむさんラボ、日本旅行、 近畿日本ツーリスト、阪急交通社 8

CATEGORY



観光協会



宿泊施設



自然体験



見学・学習



食事



民泊



その他

お申し込みは FAX・E-Mail または申込フォーム (Web) よりお願いします。

▼ FAX: 098-864-1772 E-mail: syuryopro2022@gmail.com

学校／会社名 (支店名)	
参加者代表氏名	
予定参加者数	名
ご連絡先	
E-mail アドレス	

知りたい情報やご質問がございましたら、下記へご自由にお書きください。

詳細・お申込みはコチラ



「令和4年度 沖縄修学旅行プロモーション」運営事務局 担当：金城／又吉

FAX: 098-864-1772 E-mail: syuryopro2022@gmail.com

TEL: 080-4102-0259 営業時間: 10時～17時 (土日祝休み)

令和4年12月26日（月）

2022 年 OCVB 重大ニュース

● 全国旅行支援等の観光需要喚起策により入域観光客が3年ぶりに増加

2019 年（実績） 10,163,900 人（内、国内 7,233,900 人 外国 2,930,000 人）

2020 年（実績） 3,736,600 人（内、国内 3,479,700 人 外国 256,900 人）

2021 年（実績） 3,016,800 人（内、国内 3,016,800 人 外国 0 人）

2022 年（見込） 5,672,800 人（内、国内 5,635,900 人 外国 36,900 人）

【21 年対比 188%、19 年対比 55.8%】

2022 年は GW や夏休みの行動制限がなく、上期においては対 19 年比（国内）80%まで回復してきました。

下期においては、全国を対象とした観光需要喚起策として、「全国旅行支援」が 10 月 11 日よりスタートし、これに合わせて「おきなわ彩発見 NEXT」が 10/11～12/27（12/28 チェックアウト分）にかけて実施され、本キャンペーン期間中の県内への入域観光客数は大幅に増加し、10 月以降は対 19 年比 100%を超えてきました。

● まだまだ厳しい観光業界の経営難や人手不足

世界的な新型コロナウイルス感染拡大により、2年以上に及ぶ人流抑制があったことから、本県のリーディング産業である観光関連産業は深刻な影響を受けました。そのような中、ようやく全国旅行支援の再開、国際航空路線の再開といった明るい兆しが見えてきたところです。

しかしながら、観光関連産業にとってこの2年余がもたらした経営難や人材不足など多大な影響は残っている状況であることから、沖縄ツーリズム産業団体協議会並びに沖縄県観光協会等協議会では、沖縄観光早期復興のための今後の対応に関する意見を取りまとめ、沖縄県知事並びに沖縄県議会議長へ要請書の手交・意見交換を重ねてまいりました。

引き続きコロナ禍で苦しい観光業界の実情をとりまとめ、改善に向けた活動を関係機関と共に取り組みます。

沖縄県知事要請 3 回（※10 回）

沖縄県議会要請 3 回（※6 回）

※2020 年からコロナ関連で通算

【主な要請内容】

- 全国旅行支援について
- 人材不足による雇用対策について
- 観光事業者への経営支援について
- 沖縄観光の本格復興に向けた取り組みについて
- 新型コロナウイルス対策について
- 教育旅行に対する要望について

● 那覇空港国際線の再開

8月2日(火)、韓国仁川-那覇路線(ティーウェイ航空)で約2年5ヶ月ぶりに那覇空港国際線が再開されました(2週間6便の運航後、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により再び運休)。10月以降、台湾台北-那覇路線(4社)、香港-那覇路線(2社)も再開。12月から韓国仁川-那覇路線(5社)が再開し、現在は3カ国/地域から11社が3路線・週69便を運航しています。

● クルーズの再開

6月29日(水)に宮古島平良港、30日(木)に本部港に約2年4か月振りに国内クルーズ船(ばしふいっくびいなす)が寄港し、沖縄における国内クルーズの受入が再開されました。11月15日に国土交通省から日本における国際クルーズの受入を再開することが周知され、国際クルーズ第1弾としてにっぽん丸モーリシャスプレシヤスクルーズ(横浜発着)が航行、沖縄にも12月19日石垣港に寄港しました。

● 修学旅行、3年ぶり回復基調に転ずる。対前年比300%超の1,198校223,949人となる見通し

新型コロナウイルス感染症の影響で大きく落ち込んだ本県への修学旅行に復調の兆しが見られました。平和学習をはじめとしてSDGsや探求学習など、より深い学びが得られるプログラムが好評で、令和4年暦年の入込数はOCVBの調査において、沖縄県発表令和3年実績の381校70,038人から300%超の1,198校223,949人の見通しとなっています。

● 県内各地で各種イベント再開

コロナ禍において、中止(延期)、またはオンライン開催となっていた県内イベント・スポーツ大会の再開が相次ぎました。那覇大綱挽まつり等各地の祭りや花火大会も3年ぶりに開催、1年の延期を経て開催された「世界のウチナーンチュ大会」には世界各国から多くの参加者が来沖しました。

(主なイベント・スポーツ大会)

10月9日(日)那覇大綱挽 事前登録した2,563人が参加

10月21日(金)～23日(日)第46回沖縄の産業まつり 参加者数24万人

11月12日(土)、13日(日)ツール・ド・おきなわ 参加者2,500人

12月4日(日)NAHAマラソン 約2万人の参加

● 「沖縄観光のあゆみ」本土復帰50周年記念誌発行等

「沖縄観光のあゆみ」では、沖縄本土復帰前から2022年までの沖縄観光に関する出来事を年表形式でまとめており、今回の発行とあわせて、より多くの方がご確認いただけるよう、OCVBコーポレートサイトに電子版を公開しました。

また、観光情報サイト「おきなわ物語」では本土復帰記念特集記事 History of OKINAWA～沖縄本土復帰50周年特集～を公開。復帰からこれまでのあゆみや、旅行中に体感できる「復帰前の沖縄が感じられる施設」、復帰っ子が語る沖縄の魅力などを発信。本土復帰50周年の節目に県内で開催される「美ら島おきなわ文化祭2022」の特別広報大使として、沖縄観光PR大使の「花笠マハエ」が就任。期間中に開催された関連イベントなどを取材し観光の魅力と共にイベントレポートも行いました。

● 沖縄が10年ぶりに朝ドラの舞台となった「ちむどんどん」の全国放送

沖縄の本土復帰50年を記念し、沖縄が10年ぶりに朝ドラの舞台となったNHK「連続テレビ小説」として「ちむどんどん」が放映されました。放送中は撮影の舞台となった本島北部のやんばるや、神奈川県の高見など、県内外で多くの関連イベントやキャンペーンが展開され大きな反響を呼びました。また、復帰50年を改めて振り返るキッカケづくりに大きく貢献しました。

朝ドラ放送と連動し、ドラマの舞台となった沖縄の魅力を発信するためのサイト「ちむどんどんの舞台・沖縄」を公開。ドラマのストーリーと連動する形で観光コンテンツの情報発信を行いました。

● 旧海軍司令部壕 NPO 法人が45年ぶりに「未公開壕」における遺骨収集作業を実施

旧海軍司令部壕「地下壕」では、終戦から7年後の昭和27年(1952年)に第1回遺骨収集作業が行われました。その後、複数回にわたって遺骨収集作業が行われ、最後は終戦から33回忌の節目の年を迎えた昭和52年(1977年)に遺骨収集作業を行い、すべての遺骨が収集されたこととなりました。

一方で壕内には未公開箇所が約150m存在し、見落とされた遺骨や遺品が埋まっている可能性もあったことから、本年10月、NPO法人空援隊が遺骨収集ボランティアを募り遺骨収集作業を実施したところ、遺骨並びに遺留品が発掘されました。新たに発

見された遺留品を令和4年12月17日(土)から令和5年1月31日(火)までの間、「地下未公開壕発掘遺留品特別展」として展示しております。

当該施設は、77年前の沖縄戦で旧海軍司令部として使用された基地が当時のままに保存されており、同時に海軍戦没者慰霊之塔及び戦争資料館を併設する県内唯一の戦争資料館として高い評価を受けております。

● 令和4年度観光関連の功労者表彰に、3氏・1校が選出・受賞

- ① 沖縄県功労賞表彰「観光振興部門」: 平良哲 氏 受賞
- ② 観光振興事業功労者表彰(日本観光振興協会) 大城吉永 氏 受賞
- ③ 沖縄県観光功労者表彰状: 豊見山健児 氏 受賞
- ④ 沖縄県観光功労者感謝状: 九州産業大学附属九州産業高等学校 受賞

令和4年12月26日（月）

「沖縄 MICE プロジェクト 2022」（招聘ツアー＆商談会）

沖縄県及び一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）は、今後沖縄への誘致が期待できる県外旅行会社の MICE 担当者 19 名を招聘し、沖縄の新しい魅力ある MICE および県内 MICE 関連事業者を紹介し、本県での MICE 開催誘致促進に繋げることを目的にした招聘ツアー＆商談会「沖縄 MICE プロジェクト 2022」を開催しました。

本プロジェクトでは「NEW&SUSTAINABLE」をテーマに、コロナ禍に新たにオープンした MICE 施設はもちろん、SDGs に資する内容（環境保護・負荷軽減、地域の文化理解・保全、交流につながる取り組み）の紹介を行い、沖縄ならではの持続可能な MICE の実施を促しました。

引き続き参加旅行会社へ継続したフォローアップを行うとともに、今回のフィードバックを県内事業者にも行い、さらなるコンテンツの魅力や価値の向上、誘致促進を目指します。

■「沖縄 MICE プロジェクト 2022」概要

【視察ツアー】

日 時：令和4年11月29日（火）～12月1日（木）

内 容：県内 MICE 施設、コンテンツの視察、体験
（ツアーテーマ：NEW & SUSTAINABLE）

視察先：沖縄アリーナ、琉球ホテル＆リゾート名城
ビーチ、沖縄プリンスホテルオーシャンビュー
ぎのわん、MROJAPAN 格納庫見学、ビーチクリーン体験等



【商談会・交流会（ネットワーキングレセプション）】

日 時：令和4年11月30日（水）（商談会）14:30～17:45
（交流会）18:00～21:00

場 所：琉球ホテル＆リゾート名城ビーチ
出展者数：県内 MICE コンテンツ事業者 33 団体
商談件数：事前マッチング 171 商談
内 容：商談会、旅行社と県内事業者の交流会
（チームビルディング、模擬パーティー）



【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
担当部署：海外・MICE 事業部 MICE 推進課
比嘉（茜）・比嘉（玲依美）、宮平
TEL:098-859-6130 Mail:omp@ocvb.or.jp

沖縄MICEプロジェクト2022 視察ツアー行程

テーマ：NEW & SUSTAINABLE

11月29日（火）	昼：那覇空港着 ・首里城公園 ・国際通り屋台村 ・那覇文化芸術劇場なはーと ・座喜味城跡 ・MBギャラリーチャタンbyザ・テラスホテルズ ・夕食：チャタンハーバーブルワリー ・宿泊：沖縄プリンスホテルオーシャンビューぎのわん
11月30（水）	・MROJAPAN格納庫見学 ・昼食：首里天楼別邸 ・シャボン玉石けん くくる糸満 ・商談会・交流会@琉球ホテル&リゾート名城ビーチ ・宿泊：琉球ホテル&リゾート名城ビーチ
12月1日（木）	・沖縄アリーナ ・プロジェクトマナティ（クリーンアップ活動@瀬長島） ・ガンガラーの谷 ・昼食：屋宜家（沖縄そば） 那覇空港発

※EVバス、バガスアップサイクルかりゆしウェアレンタル、沖縄芸人バスガイド等も体験

沖縄MICEプロジェクト2022 交流会 紹介コンテンツ

- ・チームビルディング（株式会社DMC沖縄・Making Okinawan Music）
- ・ゲストスピーチ（泡盛の女王）
- ・泡盛試飲ブース（沖縄県酒造組合）
- ・料理への県産品活用、沖縄料理の起用（琉球ホテル&リゾート名城ビーチ）
- ・ステージアトラクション（くいなwith Eisa-crew CROWN）
- ・記念品（沖縄の風合同会社・美しい海とサンゴを守るエコバッグ）
- ・「CO2ゼロMICE」（*）という取り組みを利用し、会場内で使用する電力を再生可能エネルギーに置き換え、二酸化炭素（CO2）の排出を実質ゼロに。

（*）JTBグループが提供するカーボンニュートラル事業の一環で、環境価値の算出・調達及び検証などをパッケージにした商品。MICE主催者等がクレジットを購入すると、（カーボンオフセットという）再生可能エネルギー普及に貢献したことを証明する「グリーン電力証書」（一般社団法人日本品質保証機構が認証する制度）が発行される。

本ツアーの視察、体験コンテンツ紹介

那覇エリア

首里城公園 **Sustainable**



【アクティビティ・パーティー】

(POINT)

沖縄の歴史・文化を象徴する世界遺産・首里城。琉球王国の時代から大切なお客様を迎えおもてなした沖縄ならではの特別な場所。専門ガイドによるツアーで復元の様子を見学した後、屋外広場でパーティー可。

国際通り屋台村 **NEW**



【パーティー】

(POINT)

多種多様な屋台が立ち並ぶ半露店の屋台村。まるごと貸し切りも実績あり。ユニークで賑やかな南国の夜を。

那覇文化芸術劇場なはーと **NEW**



【セミナー・式典】

(POINT)

地域の文化を発信し、人と人とのつながりや交流を生み出す、那覇市の新しい文化施設。空港からのアクセスも良く、国際通りから徒歩圏内。ホテルコレクティブ等と分散開催も。各種イベントや学会の開催会場としても人気。

南部エリア

MRO JAPAN **NEW**



【アクティビティ】

(POINT)

日本でただ一つの航空機整備専門会社の格納庫を見学。生産性や品質向上に向けた取り組みや、航空機の整備に関する専門的な講話など、ご要望に応じてアレンジが可能。

首里天楼別邸 **Sustainable**



【パーティー】

(POINT)

琉球料理を味わいながら歴史文化に浸ることができる施設。三線ライブなどイベントを盛り上げる様々なオプションもあり、目的や人数、要望に合わせてプランを提案。

シャボン玉石けん くくる糸満 **NEW**



【セミナー・式典・パーティー】

(POINT)

文化・平和・観光振興センター。演劇や講演会等に利用できる大ホールや会議室から調理室までありさまざまなシーンで利用可能。屋外広場も隣接。漁師のまち・糸満の暮らしや伝統文化を発信する展示室もあり。

琉球ホテル&リゾート名城ビーチ **NEW Sustainable**



(POINT)

那覇空港から約20分でありながら、ウミガメ保護区も含む天然ビーチと隣接。「最上級に優雅」に過ごす、リゾートMICEをご提案。最大約1000名収容できる県内最大の宴会場も魅力。

ガンガラーの谷 **Sustainable** 【アクティビティ・パーティー】



(POINT)

鍾乳洞が崩壊してできた谷間を専門のガイドと一緒にまわり沖縄の自然を学ぶツアーも可。エントランスにある天然の鍾乳洞「ケイブカフェ」は沖縄を代表するユニークベニューの1つ。

中部エリア

沖縄プリンスホテルオーシャンビューぎのわん **NEW Sustainable**



(POINT)

数々のMICEが開催される沖縄コンベンションセンターから徒歩5分。県産食材を使用したメニューの展開、サンゴ養殖を展開する近隣企業との交流、サンゴ苗植え付け体験もご相談可能。

MBギャラリー北谷／ハーバーブルワリー **NEW** 【アクティビティ・パーティー】



(POINT)

メイド・イン・オキナワのライフスタイルホテル。全館貸切利用も可。目の前の直営シーフードレストランでは地元クラフトビールも楽しめる。カタマランボートクルージングも可。

沖縄アリーナ **NEW**



【セミナー・式典・パーティー】

(POINT)

最大10,000名収容可能な県内最大の多目的アリーナ。臨場感溢れる大型映像設備とワンランク上のホスピタリティで、大満足のMICEイベントを実現！

座喜味城跡 **Sustainable**



【パーティー】

(POINT)

世界遺産。15世紀に琉球王国統一後の国の安定に尽力した名將護佐丸（ごさまる）によって築かれた。見事な曲線美を誇る城壁にライトアップで幻想的に。周辺読谷村にはホテルも多数。

エリア問わず

EVバス **Sustainable**



(POINT)

低炭素社会促進に向けた電気で走るバス「EVバス」は、従来のバスに比べて揺れや走行の少ない乗り心地。環境に配慮したSDGsな社会の実現につなげる。

バガスアップサイクルかりゆしウェア **NEW Sustainable**



(POINT)

サトウキビの搾りかす「バガス」を使用したかりゆしウェアのレンタルサービス。製品寿命後は再びサトウキビ畑へ還る「環境にやさしいエシカルなサービス」を展開。おそろいバガスシャツで参加者の一体感と沖縄気分アップ。

沖縄芸人バスガイド **NEW**



(POINT)

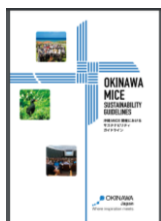
地元お笑い事務所とバス会社がコラボ。沖縄らしき満載のお笑い芸人がバスガイドとなり楽しく沖縄をナビゲート。明るく・笑いあふれる旅をご提供。

プロジェクトマナティ **NEW Sustainable** 【アクティビティ】



(POINT)

沖縄本島各地で開催可。地域の人と一緒にビーチクリーンや地域散策。人と繋がる、地球に優しいアクティビティ。準備なし、片付けなしで手軽なクリーンアップアクティビティ。



沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン

主催者様や県内のMICEサプライヤー双方の持続可能な取り組みを支援するツールとして策定。県内の事例紹介や、セルフチェックシートなども備えています。沖縄らしいSDGsの実現に向け、沖縄の優先課題の改善に資するMICE関連の取り組みとSDGsのゴールを整理しています。

<https://mice.okinawastory.jp/reason/sustainability/>

※本冊子p15～「取り組みチェック項目」より、今回の「MICEプロジェクト」や視察先のSDGsに資する主な取り組みを抜粋↓

関連するSDGsゴール



2	もの資源	
4	地産地消を食材調達方針としている	「首里天楼」にて琉球料理、「チャタンハーバーブルワリー」にて地元クラフトビール、「琉球ホテル&リゾート名城ビーチ」にて地域食材活用メニューの提供、「沖縄県酒造組合」連携のもと、泡盛試飲の紹介など
13	フードロスを減らすための配慮や取り組みを行っている	各所にて協力呼びかけ
15	配布バッグや名札ケース等は、再生材の利用やリサイクル性に配慮したものをを選び、再利用を行っている	・商談会等での配布資料の削減協力呼びかけ ・提供資料の電子化 ・名札ストラップ等の再利用
19	プラスチック製品の使用を減らす取り組みを行っている	・ペットボトル飲料を利用せず、蓋つきアルミ缶飲料を提供
3	エネルギー・水資源	
5	省エネルギーにつながる取り組みを実施している	・交流会では会場内で使用する電力を再生可能エネルギーに置き換え、二酸化炭素（CO2）の排出が実質ゼロになる「CO2ゼロMICE」（*）という取り組みを利用。 （*）JTBグループが提供するカーボンニュートラル事業の一環で、環境価値の算出・調達及び検証などをパッケージにした商品。MICE主催者等がクレジットを購入すると、（カーボンオフセットという）再生可能エネルギー普及に貢献したことを証明する「グリーン電力証書」（一般社団法人日本品質保証機構が認証する制度）が発行される。
6	かりゆしウェアの着用等、クールビズを推奨している	・さとぅきびのしぼりかす「バガス」を使用したかりゆしウェアレンタルの紹介
7	環境負荷低減を实践する会場間移動を選んでいる	・EVバスの利用
6	自然・文化	
1	アトラクションやパフォーマンス等は、地域の魅力を伝えるものを優先して選んでいる	・エイサーパフォーマンスの紹介 ・沖縄の楽器を用いたチームビルディングの紹介
2	ギフトやノベルティ等は、地域の素材を活用し、地域の魅力を伝えるものを優先して選んでいる	・使用済ペットボトルを再生したりリサイクル素材を活用したエコバッグ（購入費用の一部がサンゴ基金に寄付）を紹介
3	参加者が訪問地域への理解を深められるプログラムを優先して選んでいる	・首里城、座喜味城、ガンガラーの谷など沖縄の歴史、文化、自然に対し理解を深めるプログラムを紹介。 ・「プロジェクトマナティ」によるビーチクリーン活動の紹介。地域住民とともにクリーンアップ活動や地域散策を通じて地域や自然環境保護について学ぶことができるプログラム。
9	地域の自然及び文化遺産に関する情報・解説の資料が、利用可能な状態で提供されている	地域の歴史、文化、自然に対し理解を深めるガイドニングや資料を提供

商談会参加 県内セラー情報

ホテル 16社

かりゆしホテル グループ
株式会社ときわ（ルカナモトブ）
ホルトノキ ホテル&トロピカルガーデン
ANAインターコンチネンタル万座ビーチリゾート
沖縄プリンスホテル オーシャンビューぎのわん
KPG HOTEL & RESORT
ハイアットリージェンシー瀬良垣アイランド沖縄
ホテル日航アリビラ
ムーンホテルズアンドリゾーツ株式会社
リザンシーパークホテル谷茶ベイ
ノボテル沖縄那覇
ホテル コレクティブ
株式会社ロワジール・ホテルズ 沖縄
株式会社ジェイシーシー（百名伽藍）
琉球ホテル&リゾート名城ビーチ
ヒルトン沖縄宮古島リゾート

観光施設 6社

株式会社名護パイン園
（古宇利オーシャンタワー・百年古家 大家）
一般財団法人沖縄美ら島財団
（沖縄美ら海水族館・首里城公園）
株式会社 東南植物楽園
ビオスの丘
株式会社DMM RESORTS（DMMかりゆし水族館）
株式会社南都（ガンガラーの谷）

MICE施設・会場 3社

万国津梁館
沖縄アリーナ株式会社
株式会社コンベンションリンケージ
（沖縄コンベンションセンター）

観光協会（その他団体） 3社

一般社団法人 沖縄市観光物産振興協会
沖縄南部観光協力会
一般社団法人 宮古島観光協会

MICEコンテンツ・サービス 5社

HelloWorld株式会社
株式会社アイティオージャパン（アソビパークス）
株式会社okicom（バガスアップサイクル等）
ティーアールピージャパン株式会社（ワールドキッズ）
株式会社マナティ

県内セラー

合計 33社

令和4年12月26日（月）

「MICE EXPO in Kansai 2022」への出展報告について

沖縄県及び一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下OCVB）は、本県でのMICE開催誘致促進を目的として「MICE EXPO in Kansai 2022」へ出展いたしました。

沖縄県・OCVBブースへは約70名の来訪者（会場内出展企業を除く）があり、インセンティブ旅行や展示会等を含むMICE案件の相談、沖縄県内で開催されるMICEに活用可能なサービス情報の提供など活発な情報交流が行われました。

■ 「MICE EXPO in KANSAI 2022」概要

- (1) 日 程：令和4年12月7日（水）～12月8日（木）10：00～17：00
- (2) 会 場：インテックス大阪 2号館（大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102）
- (3) 主 催：MICE EXPO in Kansai 2022 実行委員会（以下、構成団体）
 - 一般財団法人 大阪国際経済振興センター
 - 一般社団法人 日本展示会協会
 - 一般社団法人 日本ディスプレイ業団体連合会
 - 公益財団法人 大阪観光局
- (4) 出展者数：102団体
会場・施設、企画・制作・運営会社、施工・ディスプレイ会社、
運営サポート会社、旅行会社、宿泊業、観光関連団体、メディアなど
- (5) 来場者数：2,775名（主催者発表 速報値）
- (6) 開催の様子



【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
担当部署：海外・MICE 事業部 MICE 推進課
古波蔵、徳山
TEL:098-859-6130 Mail:mice@ocvb.or.jp

令和4年12月26日（月）

「沖縄クルーズカンファレンス 2022」開催報告について

沖縄県及び一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下OCVB）は、国際クルーズ船の受入が再開された今、改めて関係者間の連携を深め、日本・沖縄におけるクルーズ観光の振興に向け、機運醸成をはかることを目的として「沖縄クルーズカンファレンス 2022」を開催いたしました。

国内外のクルーズ船社、港湾管理者、行政関係者、観光事業者等が集い、クルーズの現状共有と今後のクルーズ振興について活発な意見交換が行われました。

■「沖縄クルーズカンファレンス 2022」概要

- (1) 日 程：令和4年12月21日（水）16：00～20：00
- (2) 会 場：ロワジールホテル那覇
- (3) 参加者数：第1部 カンファレンス 150名 第2部 ネットワーキング 55名
- (4) 内 容：

【カンファレンス】

I 基調講演

- 1. 邦船クルーズによるこれまでの取り組みと外航クルーズの再開について
商船三井客船株式会社 取締役 小出 文隆氏
- 2. 世界のクルーズの現状/日本におけるクルーズ振興に向けて
株式会社カーニバル・ジャパン 代表取締役社長 堀川 悟氏
- 3. 沖縄の離島エクスペディションの可能性
ポナン日本韓国支社長 伊知地 亮氏

II パネルディスカッション

テーマ：「今後の日本におけるクルーズ振興と沖縄の役割」

モデレーター：一般財団法人みなと総合研究所 所長 山本 三夫氏

パネリスト：株式会社カーニバル・ジャパン 代表取締役社長 堀川 悟氏
ポナン日本韓国支社長 伊知地 亮氏
商船三井客船株式会社 取締役 小出 文隆氏
国土交通省港湾局 クルーズ振興室長 池町 円氏
OCVB 海外・MICE 事業部 部長 米谷 保彦

【ネットワーキング】

名刺交換会 等



【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
担当部署：海外・MICE 事業部
海外プロモーション課 クルーズチーム
平山、赤嶺
TEL:098-859-6127 Mail:cruise@ocvb.or.jp

令和4年12月26日（月）

学生向け『インターンシップ動画』公開のお知らせ ～魅力いっぱいの観光業界でのインターンシップを知ろう！～

沖縄県及び一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下OCVB）は、観光業の魅力やそのやりがいを伝え、入社前後のミスマッチを防ぐため、学生向けにインターンシップ動画を作成しました。本動画では、実施に観光業界のインターンシップに参加した学生の感想や受入先の企業担当者の方からのアドバイス、観光業界で働く先輩社員の方々からのお話を聞くことができます。これから就職活動を控えている学生のみなさまに対して、引き続き情報発信に取り組みます。

■概要

動画タイトル：『魅力がいっぱい！観光業界でのインターンシップを知ろう！』

内容：①インターンシップ体験学生のインタビュー

（県内学生2名）

②インターンシップ実施企業のインタビュー

（ヒルトン沖縄瀬底リゾート）

③観光業界で活躍する先輩社員に聞いてみた！

（（株）南都 ガンガラーの谷、沖縄ツーリスト（株）、（株）国際旅行社）

公開期限：令和4年3月31日（金）まで

視聴方法：下記 URL もしくは QR コードよりご視聴ください。

※OCVB 公式 YouTube チャンネル上で動画公開しています。

https://www.youtube.com/watch?v=WtHcCL3pbCo&feature=emb_logo



【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー

国内事業部 受入推進課 担当：天久、大城

[TEL:098-859-6129](tel:098-859-6129) FAX：098-859-6222

Mail：ikusei@ocvb.or.jp

就活生
必見！

無料

観光業界の魅力が分かる！ 学生向けインターンシップ動画を公開中！

魅力がいっぱい！ 観光業界でのインターンシップを知ろう！



① インターンシップ
体験学生インタビュー



② インターンシップ
実施企業インタビュー



③ 観光業界で活躍する
先輩社員に聞いてみた！

動画だからいつでも・どこでも手軽に視聴できるよ！
ぜひ就活生のみなさんもチェックしてみてね！



OCVB YouTubeにて公開中！

動画視聴はこちらから！

お問い合わせ

(一財)沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部 受入推進課 (大城、天久)
〒901-0152 沖縄県那覇市小禄1831番地1 沖縄産業支援センター2階
TEL: 098-859-6129 E-mail: ikusei@ocvb.or.jp



こちらをあわせてご覧ください！

沖縄観光みらい新聞

観光の力で、沖縄の未来はもっと動き出す

様々な観光関連産業で働く人へのインタビューなどを通して、
現場から感じる“沖縄観光の未来”に光を当てた記事を発信
しております。ぜひご覧ください。

『沖縄観光みらい新聞』はこちら！



令和4年12月26日(月)

2023年「沖縄観光新春の集い」の開催について

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー(会長:下地芳郎、以下 OCVB)は、2023年の新年を迎えるにあたりまして、観光関連業界及び関係機関の皆様が一堂に会する恒例の「沖縄観光新春の集い」を下記のとおり開催いたします。

つきましては、ご多忙の折恐縮に存じますが、取材についてご検討お願い申し上げます。

記

1. 行事名:2023年「沖縄観光新春の集い」
2. 期 日:令和5年1月4日(水)
3. 時 間:13時00分 ~14時00分
4. 会 場:パンフィックホテル沖縄 2階「万座の間」(沖縄県那覇市西 3-6-1)
5. 次第案
 - 1)幕開け 琉球舞踊
 - 2)主催者挨拶 OCVB 会長 下地 芳郎
 - 3)来賓挨拶 沖縄県知事 玉城 デニー 氏
 - 4)鏡開き
 - 5)乾杯の音頭 沖縄経済同友会 代表幹事 瀧辺 美紀 氏
 - 6)懇談
 - 7)中締め OCVB 専務理事 前原 正人

6. 備考:本日12月26日(月)は、取材参加申込の締め切り日となっております。

取材参加をご希望される方は、下記お申込みフォームに必要事項をご入力の上、お申込みください。なお、会場スペースの関係上、各社3名以内のお申込みとさせていただきます。予めご了承ください。

<https://forms.office.com/r/K8jKcfpKXi>



【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー

総務部 総務・経理課 担当: 又吉、志伊良、照喜名

TEL: 098-859-6124

FAX: 098-859-6221

Mail: soumu@ocvb.or.jp